



郊外の春寒し

職工の食堂會議に

ピストルを差向くる憲兵

警官の剣で職工の監督は出来まい
目玉が横向けば日向ぼつこの意業
高壓で購ひ得た止むを得ざる平靜

八幡

警備隊の大砲工事件は
表面的に一先ツクリが
付いたやうである。然
日の通り林立せる機突
から湧々たる黒煙も濁り
い機銃の響も聞えて居る
百五十八人職工四千二百
人夫九百六十九人で平素
相違がない。併し夫れは
の職突であつて、職突を
置る大きな音が何時洶湧
せる波瀾を揚げぬ
こも豫想されぬ

工場

其の目的の玉の横
を向いた時は依然
日向ぼつこの意

業が持續されて

居る時々監督がサベ
ルをヒツク放いで職工
は中絶し、職突から強
吐いて仕事の際率に
分、監督の仕事の能率
八本の銃を能く職工
た二本位しか仕上げ
なんか素人だと思
れなら古手の知事や
民政長官上りが
どれだけ

問專

一の知識を持つて居る
物に對する外は、
に六萬、七萬、十
に十倍以上の損害
した所では二百萬
る東京大阪の船廠に
衛を雇つて居る、
食堂で少しも
騒いで居るに實
弾を装置したピ
ストルを差し向
けるに、

何者の不逞を!!

伏見若宮殿下の
お召列車に投石

伏見若宮博義王殿下の御召列車を
連結せる十一日午前七時四十分
下關驛發一、二等特急列車が十二
日午前六時四十五分松田、下曾我
間に差しか、り、際海岸より同
列車を自蒐けて投石したる者あり
一は警備隊の次なる大砲工、
特なるのみにて、
れ居りし爲めに其の大事なかりし
も松田署にては投石犯人を嚴重取
調べ中なるが殿下は同夜逗子御
別邸に入らせられたり(逗子電報)

大村工村の酒造研究

大村工村の酒造研究
師技士
談士
の酒造研究は、
味、や香りはさうでも可い
然して、
此は、
他、
一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

未決で神妙に

未決で神妙に
宗教書類に讀
殺人子爵
演説づくめ

福岡に

福岡に
宗教書類に讀
殺人子爵
演説づくめ

酒暴落で

酒暴落で
宗教書類に讀
殺人子爵
演説づくめ

富

富
宗教書類に讀
殺人子爵
演説づくめ

四

四
宗教書類に讀
殺人子爵
演説づくめ

富

富
宗教書類に讀
殺人子爵
演説づくめ